

令和 2 年 2 月 1 2 日

地方創生に関する調査特別委員会

阿久根市議会

- 1 会 議 名 地方創生に関する調査特別委員会
- 2 日 時 令和2年2月12日（水）
10時02分開会
10時17分閉会
- 3 場 所 議場
- 4 出席委員 岩崎健二委員長、竹之内和満副委員長、川上洋一委員、
白石純一委員、濱田洋一委員、竹原信一委員、
濱崎國治委員、中面幸人委員、牟田学委員、
木下孝行委員、濱之上大成委員、山田勝委員、
仮屋園一徳委員
- 5 欠席委員 濱門明典委員
- 6 事務局職員 次長兼議事係長 牟田 昇、議事係 松崎 正幸
- 7 会議に付した事件
・笑顔あふれる阿久根市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び総
合戦略の検証について
- 8 議事の経過概要 別紙のとおり

審査の経過概要

岩崎健二委員長

ただいまから、地方創生に関する調査特別委員会を開会します。

1月16日に開催した委員会では、地方創生に関する各事業の所管課に質疑等を行い、意見を伺いました。また、そのほか、文書により意見を出していただいたところです。

本日は、これらの意見をもとに、本委員会としての平成30年度事業の検証結果に対する意見を取りまとめたいと思っております。

ただいま、配布してあります委員からの意見を熟読していただくため、ここで暫時休憩をし、その後、出されました意見のほかに意見があれば伺いますの、よろしくお願いいたします。

それでは、暫時休憩いたします。

（休憩 10：03～10：10）

岩崎健二委員長

休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

それでは、ただいま配布してある各事業に対する意見等のほかに、さらにほかに意見があれば伺います。どなたからでも結構です。

ありませんか。

中面幸人委員

いろんな意見が出ておりますけれどもですね、いろんな制度というのは国の制度によってですね、各県の自治体がですね、それぞれ国の事業に沿っていろいろ計画をしていっているわけなんです、全国どこの自治体も少子高齢化、そのために人口を増やす政策という形で、どこの自治体も一緒なんです。そこでですね、国の制度に沿った、ほかの自治体と同じようなことをしておったってですね、例えば仮に、人口を増やす政策をとってもですね、人は来ないと思います。私は以前から考えているんですけども、国の政策、制度に上乗せした、自治体の予算の関係もあるかもしれませんが、本当に取り組むんであったらですね、国の制度に上乗せした自分の自治体の独自の制度をつくって、そういうふうに取り組まないと、なかなか効果が出ない。形だけのものになってしまってるというふうに、私は常々思っております。だから、ここらでやっぱり決断しないと、ほかの自治体と同じようなことしとたって、国の制度に沿ってって、一緒だと私は思ってるんですよ。だから、今度、この計画の見直しは取り組んでほしいと思います。

岩崎健二委員長

ほかにありませんか。

竹原信一委員

中面委員の意見と近いんですけども、国の問題、国がそもそも人口減少を

とめようとはしていないという状況があります。外国人を入れ、そのことで日本人の収入が下がる。収入が下がるから若者が結婚できなくて人口が減っていく。つまり、国の政策自体を疑っていかなきゃいけないということです。私たちは根本的に、実際、成果を出すことに取り組むべきで、回りに認められることを目標にするとかですね、あるいは国の補助金をもらうために事業を組み立てるという考え方は、もうそろそろやめていかなければいけないんじゃないかなと思います。

岩崎健二委員長

それぞれ御意見があろうかと思いますが、本委員会は平成30年度に実施された事業の成果について検証をする委員会ですので、そこらを主幹として皆さんの御意見をお願いいたします。

竹原信一委員

将来に向けての施策のための委員会ではないのでしょうか。

岩崎健二委員長

30年度の事業の検証結果を委員会として意見を出す。

竹原信一委員

何のためにそれをやるんですか。

岩崎健二委員長

30年度の分について検証した結果をもって、それを次の年につなげていけるような意見をお願いしたい。

竹原信一委員

そうですよね。次の、将来に向けての結果を出すためにですよね。

岩崎健二委員長

だから、30年度の検証結果に基づいて、例えば、今言われた人口減少対策についてはこうこうしましたというふうに報告があるんですが、それについて自分たちはこう思うからこうしてほしいと、というような流れをお願いします。

竹原信一委員

将来に向けても提案をしなきゃいけない話ですね。

岩崎健二委員長

ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なければ、ただいま出された意見も含め、当委員会から議長あて報告することにしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認め、そのように決しました。

なお、今回の報告は中間報告の申し出を行うこととし、報告書の作成及委員長報告に関しては委員長に御一任願いたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認め、そのように決しました。

さらに、本会議及び報告書については、意見の内容を損なわない形で、概要もしくは概略を報告することにしたいと思いますが、文言については委員長に

一任することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

木下孝行委員

まとめてもらうのはまかせるんですけど、やはりそこにはこの意見に対して、十分行政側のほうがしっかりと対応するように、改善するところは改善し、新しい提案があればそれも十分検討して実施するように、そういうことを、文言を入れ込んでください。強い意見ということです。

岩崎健二委員長

今、木下委員よりありました件につきましては、私も常々そう思っております。委員会または議会で決したものが執行部において厳粛に受けとめ、実行に向けていくかというのは甚だ疑問でありますので、そこらは一般質問等も含めたことになりますが、執行部においてはしっかりと議会を尊重していただけるようという文言は入れていきたいと思っております。それでよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ということで、文言については委員長に一任することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認め、そのように決しました。

以上で、本日の委員会を終了し、散会いたします。

(散 会 10時17分)

地方創生特別委員会委員長

岩 崎 健 二